

【研究課題】

慢性疼痛患者における痛み、運動機能、ADL/IADL、心理社会的因子を通じたリハビリテーションに関する研究

【対象】

2000年4月1日から2020年3月31日までに、当院麻酔科から依頼され、リハビリ医指示の下にリハビリテーション（以下 リハ）を実施した方

【研究機関名】

大阪大学医学部附属病院 リハビリテーション部

【目的】

慢性疼痛は、身体的要因だけでなく、精神心理社会的要因を含むと言われていています。そのため、慢性疼痛患者さんには、情動や認知、患者さんを取り巻く社会情勢を含めた関わりが必要です。腰痛患者さんに対するリハは、今でも強く推奨されていますが、一方で、リハの十分なエビデンスが確立されていない慢性疼痛疾患もあり、更なるデータの蓄積が必要です。今回、慢性疼痛患者さんに対するリハによる治療経過を、痛み、運動機能、ADL/IADL、心理社会的因子から検討し、有用なリハアプローチに繋げていきます。

【方法】

通常のリハ診療で行う評価を用います。それらの結果と電子カルテから得られた診療情報を用いて、リハ介入上の問題点や効果について検討します。

【意義】

本検討によって、慢性疼痛患者さんに対するリハの質的改善に繋がることが期待されます。

【個人情報の扱い】

本研究で得られた成果は学会等で公表されることがあります。その場合、対象者の個人情報は外部から特定できないように厳重に管理されます。

【問合せ先】

大阪大学医学部附属病院リハビリテーション部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号

【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】

研究対象者に該当する方は、担当療法士を通じて、データの使用を拒否することができます。